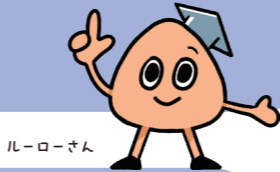


3

一人ひとりの学び方で 確かな学力を



ルローヤム

基礎・基本をしっかり習得

お悩み



先生

すべての生徒の
理解を
確実にしたい!



生徒

数学が苦手だな…。
何から手をつければ
よいかわからないよ。

その場で
復習

ちょっと確認

つまずきの多い内容を同じページ
内ですぐに確認できます。

QRコンテンツ「ちょっ
と確認」でフラッシュ
カードに取り組むこと
もできます!



編集者

細かな
単位で

クイック チェック

学習した内容を細かな単位で確認
できる問題を新設しました。必ず身
につけたい問題を取り上げ、つまず
きを早い段階で発見できるようにし
ました。

等式を変形して、ある文字について解いてみよう。

例1 $2x - 4y = 7$ を x について解きなさい。

解答 $2x - 4y = 7$
 $2x = 7 + 4y$ $\left\{ \begin{array}{l} -4y \text{ を移項する} \\ \text{両辺を } 2 \text{ でわる} \end{array} \right.$
 $x = \frac{7}{2} + 2y$ **答** $x = \frac{7}{2} + 2y$ $4x = \frac{7+4y}{2}$ と
してもよい。

例2 $\frac{1}{2}xy = 6$ を y について解きなさい。

解答 $\frac{1}{2}xy = 6$
 $xy = 12$ $\left\{ \begin{array}{l} \text{両辺に } 2 \text{ をかける} \\ \text{両辺を } x \text{ でわる} \end{array} \right.$
 $y = \frac{12}{x}$ **答** $y = \frac{12}{x}$

例3 次の等式を [] の中の文字について解きなさい。
 (1) $\frac{1}{4}xy = 2$ [y] (2) $2ab = 4$ [b]

例4 次の等式を [] の中の文字について解きなさい。
 (1) $\ell = 2(a+b)$ [a] (2) $V = \frac{1}{3}a^2h$ [h]

(1)、(2)の式は、
下の図形の何を
求める式かな。

クイックチェック 次の等式を [] の中の文字について解きなさい。 \rightarrow p.29 ~ 30

(1) $4x + 8y = 1$ [x] (2) $2x - 3y - 6 = 0$ [y] (3) $\frac{1}{5}ab = 2$ [b]

▲ 2年 p.30

クイックチェックは
授業時数配当外です。
前時の復習としても使えます!

1・2年
[巻末]

学びのベース 【まとめ編】

算数や前の学年の内容を振り返って確認
することができます。さらに、算数のフラッシュカ
ード(自動採点機能付き)のQRコンテンツで自
学自習をサポートします。

算数・数学

学びのベース | 算数 まとめ編

数と計算

1 約分 \rightarrow p.207

2 通分 \rightarrow p.207

3 分数のかけ算、わり算 \rightarrow p.207

4 分数のかけ算、わり算

5 計算のきまり \rightarrow p.207

▲ 2年 p.202

3年
[巻末]

学びのマップ

中学校3年間の学習内容を、共通する考え
方でまとめました。学年を越えたつながりを示
すことで、理解を深めることができます。

算数・数学

学びのマップ

3年間で学習した内容には、
共通する考えが使われているものがあります。
つながりを探しながら、学びのマップをたどってみましょう。

数のひろがり

負の数 0を基準にして、それより
も小さい数を負の数という。

平方根 $x^2 = a$ であるとき、
 x を a の平方根という。

数の大きさ

負の数の大小 負の数は、絶対値が
大きいほど小さい。

平方根の大小 $3 < 5$ であるから
 $\sqrt{3} < \sqrt{5}$ $-\sqrt{3} > -\sqrt{5}$

数や文字式の加法・減法

正負の数の加減 項の和とみれば、1年 項をまとめること 文字の部分が 1年

▲ 3年 p.232

1・2・3年
[巻末]

学びのベース 【たしかめ編】

【まとめ編】の内容の理解を問題形式で確認
することができます。

QRコンテンツ「ヒントと解答」では、ヒント、
解答、類題を表示することができます。自学自習
の場面でも活用でき、生徒が主体的に学習に取り
組む態度を育みます。

算数・数学

学びのベース | 算数 たしかめ編

数と計算

1 次の分数を約分しなさい。

2 () の中の分数を通分しなさい。

3 分数を小数で、整数や小数を
分数で表しなさい。

4 次の計算をしなさい。

5 次の計算をしなさい。

6 次の計算をしなさい。

7 次の間に答えなさい。

▲ 1年 p.260

算数・数学どうしが つながる

このマークは、今学習している数学と前後の学習との関
連を見いだせる箇所に付いています。前の学習を知ること
でつまずきを解消したり、後の学習への見通しを立て
たりすることができます。

2年にも算数の復習ができる
ページを新設しました!



教科書でかなえる「個別最適な学び」

お悩み



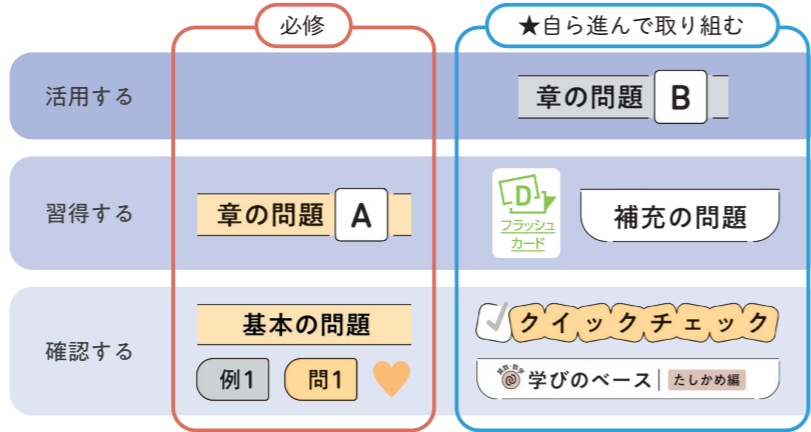
いろんな問題に挑戦してみたい!



生徒一人ひとりのペースで取り組ませたい!

豊富な問題を用意し、数学が苦手な生徒から得意な生徒までしっかりとフォローできる問題構成にしています。

「★」は授業時数配当外で生徒自ら進んで取り組む問題です。習熟度別の授業にも対応しています。



1. 確認する

まずはここから ♥ マーク

必ず身につけてほしい基本的な問題には「♥」マークを付けています。問題の重要度がわかるので、学習の進め方を自ら考えて取り組むことができます。

問7 乗法だけの式になおして、次の計算をしなさい。

(1) $(-12) \div \frac{3}{4} \times (-8)$ (2) $(-6) \div 4 \times (-14)$

(3) $(-\frac{5}{3}) \times \frac{7}{15} \div \frac{5}{6}$ (4) $(-\frac{2}{3}) \div (-\frac{8}{3}) \div 4$

(5) $(-2)^2 \times (-15) \div (-18)$ (6) $24 \div (-2^2) \times (-3)$ → p.268 回

問8 右に示した計算はまちがっています。どこがまちがっていますか。また、正しく計算しなさい。

×まちがいの例 $28 \div \frac{7}{10} \times (-2) = 28 \div (-\frac{7}{5}) = -20$

▲ 1年 p.51

学びの自己調整 チェックボックス

生徒が自らの学習状況を把握しながら学びを進められるよう、新設しました。観点ごとに色と形を変え、身につけてほしい資質・能力がわかるようにしました。

問7 知識・技能 問8 思考・判断・表現

♥マークには、「これが解ければひと安心♥」という思いも込めています。



編集者

2. 習得する

問ができた

補充の問題

★マーク

問が早く終わった生徒は、側注のリンクから巻末の「補充の問題」に取り組むことができます。

「補充の問題」のなかで、少し難しい問題には、★マークをつけ、個に応じて難易度を調整できるようにしました。

問4 次の計算をしなさい。

(1) $4x+7y+2x-5y$ (2) $5x^2+2x-4x-3x^2$

(3) $4ab-2a-ab+2a$ (4) $a^2-5a-a-3a^2+3$

→ p.217 回

▲ 2年 p.15

補充の問題

1章 式の計算 解答 p.249~250

1 次の計算をしなさい。

(1) $6x-4y+4x+y$ (2) $-5x-3y+x-y$

(3) $-ab+5a-8a+7ab$ (4) $b-ab+a-b-ab$

(5) $2x^2-9x-3x^2-x$ (6) $-\frac{1}{2}a-b+\frac{1}{4}a+6b$

2 次の計算をしなさい。

(1) $(4a+8b)+(2a-b)$ (2) $(5x-2y-1)+(-3x+2-y)$

(3) $(-x+y-7)+(-x+5-y)$

4 次の2つの式について、次の答えを答えなさい。

(1) 2つの式の和を求めなさい。

(2) 左の式から右の式をひいた差を求めなさい。

5 次の計算をしなさい。

(1) $2(7x+8y)$ (2) $4(-x+2y)$

(3) $-4(-a^2+3a-5)$ (4) $15(\frac{a}{3}+\frac{b}{5})$ (5) $12(\frac{x}{4}-\frac{y}{2})$

(6) $(18a-9b-3) \times (-\frac{1}{6})$

▲ 2年 p.217

3. 活用する

日常や数学で活用する

章の問題 B

(活用の問題)

身につけた知識・技能を活用して解く問題を用意しました。自ら考えを表現する力を高める「記述式の問題」を扱い、全国学力・学習状況調査の活用型の問題や最近の入試に対応しています。

社会

1年 正解の章 章の問題 B

オリンピック・パラリンピックなどのスポーツの国際大会は、いろいろな国で開催され、その先陣は、国や地域によってさまざまな時期に送られます。これは、国や地域によって時期にちがいがあつたため、そのちがいを「時差」といいます。下の図は、ロンドンを基準にして、各都市との時差を表したものです。ただし、夏に時間をずらす「サマータイム」を実施する国や地域もありますが、ここでは考えません。

ロンドン (基準) 0時間

東京 +9時間

北京 +8時間

シドニー +10時間

ハバロフスク +10時間

アムステルダム +1時間

ロンドン (基準) 0時間

東京 +9時間

北京 +8時間

シドニー +10時間

ハバロフスク +10時間

アムステルダム +1時間

▲ 1年 p.62

社会

★自ら進んで取り組む問題です。

3年 1次調査 章の問題 B

4 離島や山間部では、病院に行くまでに多くの時間と労力がかかります。長崎県五島市では、貝津港から5kmはなれた離島まで、ドローンを使って薬を届けるサービスの実証実験が行われました。

福江島の医師がオンライン診療をしたあと、処方された薬がドローンを使って届けられるよ。

この実験では、荷物を載せたドローンが、貝津港を出発して10分で離島に着き、荷物を降ろしたあと、10分かけて貝津港にもどります。

右下の図は、1kgの荷物を載せたドローンが貝津港を出発してからもどってくるまでの時間と

▲ 2年 p.94

社会とつながる

このマークは、社会のなかで数学が活用されている場面に付いています。社会への興味・関心を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度も育みます。

3年 p.162~163の『数学×仕事』では、相似の性質を使って3Dアートを作ることができます!

